

食物経口負荷試験結果と次回の受診日までの過ごし方

負荷試験実施日 (年 月 日)

食べた食品 ()

食べた量 ()

負荷試験の結果

陽性

帰宅後に 再び症状が出る ことがありますので、負荷試験当日はご注意ください。

■ 次回の受診日までの過ごし方

- 原因食物の除去を継続します。
- ただし、負荷試験前に 症状なく食べていた量 は引き続き食べることができます。

陰性または判定保留

帰宅後に 遅れて症状が出る ことがありますので、負荷試験当日はご注意ください。

■ 次回の受診日までの過ごし方

- 今回の試験で 食べた量を超えない範囲 で繰り返し試してください。
- 「食べられる範囲」に合わせ、医師や管理栄養士から指示された加工食品を試せます。

■ お家で食べるときの注意点

- 体調が悪い時（熱や嘔吐・下痢がある、咳や鼻水がひどいなど）は試すのを控えます。
- 食べた後 2 時間程度は運動をさけましょう。

■ 食べる量を増やす・除去解除の判断について

- 症状が出ないことを確認した後、次の負荷試験の予定等を医師と相談しましょう。
 - 除去解除の目安は、日常摂取量（年齢相当の 1 回の食事量）を食べられることです。学校給食における除去解除は実際に給食で提供される量を目安にします。
 - はじめは自宅のみで除去解除とし、体調不良や食後に運動した場合でも症状が出ないことを確認した後に、学校など自宅以外でも除去解除とできるか医師と相談しましょう。
-

自宅で症状が出た場合

- 症状が出たときにはあらかじめ処方されている薬を指示通りに服用しましょう。症状が改善しない、または悪化するときには医療機関を受診しましょう。
 - また、負荷試験前に 症状なく食べていた量 は引き続き食べることができます。
-